

フェムビューTM

femVueTM



再使用禁止

D3

** 【禁忌・禁止】

<使用方法>

1.再使用禁止

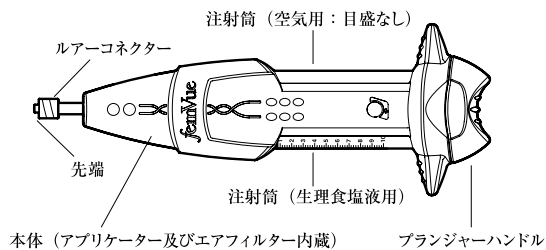
2.再滅菌禁止

<適用対象(患者)>

1.妊婦等、子宮卵管撮影が禁忌の女性には使用しないこと。[本品は超音波子宮卵管撮影時に使用するものであり、撮影が施行できない。]

【形状・構造及び原理等】

** 1.形状・構造



** 2.原理

本品の先端を生理食塩液に浸してプランジャーハンドルを引くと、各々の注射筒に生理食塩液とエアフィルターを通った空気を取り込まれる。本品を造影用バルーンカテーテル(本品には含まれない)に接続し、プランジャーハンドルを押すと、アプリケーターを通して生理食塩液と空気が交互に押し出され、造影源(生理食塩液及び空気の混合液)としてカテーテルより子宮腔内に注入される。これにより超音波子宮卵管撮影時に卵管の視覚化が可能となる。

** 3.品目仕様等

耐用性：生理食塩液及び空気の充填から造影源の注入までの操作を1回とすると、最低6回操作できる機器性能を有する。

** 【使用目的又は効果】

本品は、超音波子宮卵管撮影時に造影用バルーンカテーテルに接続し、生理食塩液及び空気の混合液を造影源として子宮腔内に注入するために用いる。

** 【使用方法等】

1.本品の準備

- (1)生理食塩液に先端を浸す。
- (2)プランジャーハンドルを最後まで引っ張り、注射筒(生理食塩液用)に液が充填されるまで保持する。

2.超音波子宮卵管撮影の手順

- (1)経腔プローブを用いて、子宮と卵巣の位置を確認する。
- (2)カテーテルの操作方法に従い、造影用バルーンカテーテルを子宮腔内に挿入する。
- (3)カテーテルのバルーンを膨らませる。

(4)本品の先端を生理食塩液に浸し、気泡が見えるまでプランジャーハンドルを押し下げ、本品側を回してルアーコネクターをカテーテルに接続する。

(5)プローブを挿入し、ゆっくりとプランジャーハンドルを押し下げ、子宮内に造影源(生理食塩液及び空気の混合液)を注入する。子宮頸部に逆流が発生しないことを矢断断像で確認する。

(6)横断像において、子宮卵管の接合部を観察できるようにプローブの方向を定め、各卵管における造影源の流れを個別に評価する。

(7)検査終了後、本品側を回してルアーコネクターをカテーテルから取り外す。

(8)プローブを抜き、バルーンを収縮させてカテーテルを抜去する。

【使用上の注意】

** 重要な基本的注意

(1)超音波子宮卵管撮影は、妊娠の可能性のない月経周期の最終日から排卵日の間に実施すること。

(2)空気塞栓症のリスクを最小限に抑えるため、必要以上に造影源を投与しないこと。

(3)使用前にルアーコネクターと使用する造影用バルーンカテーテルとの適合性を確認すること。

(4)生理食塩液以外は使用しないこと。

(5)ルアーコネクターとカテーテルとの接続部は締め過ぎないこと。

** 【保管方法及び有効期間等】

高温多湿を避けて保管すること。

包装に表示した使用期限内に使用すること。

** 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

バイエル薬品株式会社

〒530-0001 大阪市北区梅田二丁目4番9号

くすり相談 ☎ 0120-106-398

外国製造業者

フェマシスInc.(Femasys Inc.) (米国)

取扱説明書を必ずご参照ください。